

第1回有識者委員会の論点の整理

1 市民への情報提供（周知）について

- ・必要な情報を、各段階において周知を図ることが重要。(山下委員)
- ・適正な回答を得るためには、情報を十分理解して頂くことが必要。(斎藤委員長)

資料-4-3

周知や意向把握の手法
一覧必要性のパンフレット
(素案)

2 地下水検討委員会、文化財検討委員会の検討内容の把握

- ・結果が出るに至った検討の前提条件及び過程の内容確認。(小林委員)
- ・検討結果を議論したり説明する機会がほしい。
(坪井委員)

各委員に検討経緯等の
資料を送付

3 P Iプロセスの進め方

- ・委員会がP Iプロセスのイニシアティブをとるべき。たたき台も委員会が提示を求めるという表現が適切。フィードバック機能を追加。
(小林委員)
- ・具体的なプロセスの内容について議論が必要。
(飯田委員)
- ・P Iプロセスの進め方において、市民等の役割を明確にし具体化することが必要。(小林委員)
- ・実際の進め方を作業チャートの具体化することが必要。(山下委員)

資料-4-1

P Iプロセスの進め方

4 意見把握の方法について

- ・聞き方（受け身、積極的）の検討。（飯田委員）
- ・市民等の対象範囲の議論が必要。（近藤委員）
- ・適正な回答を得るための方法論の議論が必要。
内容については具体的なアンケートを基に議論。
（斎藤委員長）

資料-5

アンケート骨子(案)

5 その他

現地視察の時期

- ・具体的な議論が進んでからでないという意味がない
委員会の議論した内容も踏まえて実施すべき。
（坪井委員）

次回以降委員会で議論

事例の収集

- ・先行的な事例を今後の進め方の参考に。
（斎藤委員長）

資料-3

P I の事例（海外・国内）

京奈和自動車道の進捗状況等

- ・西名阪以南の京奈和自動車の進捗状況が不明。
西名阪との接続地点が理解できない。（坪井委員）

資料-2

京奈和自動車道の概要